

子育てしやすいまちづくり

放課後児童クラブ

パパママを助ける 町の政策



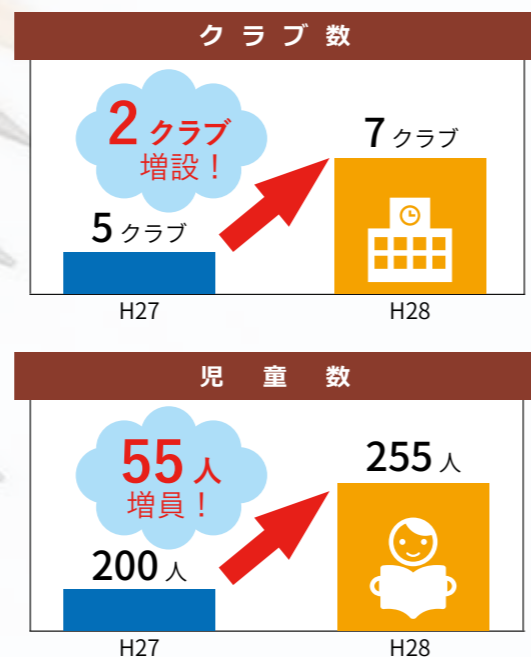
特集

放課後児童クラブ

新たな財源の創出
各種補助金の獲得

放課後児童クラブの数と定員数の推移

希望者増加に伴い
平成28年は
クラブ数を**2クラブ増設**
定員を**55人増員**



各放課後児童クラブの定員数

児童クラブ名	対象小学校	H27 定員	H28 定員
にこにこ児童クラブ (2)	境小学校	70	90 (+20)
たんぼぼ児童クラブ (2)	長田小学校・静小学校	35	70 (+35)
ポピー児童クラブ (1)	猿島小学校	35	35
はなぶさ児童クラブ (2)	森戸小学校	60	60
合計		200	255 (+55)

※ () 内の数字はクラブ数

境町の子育て支援の拡充により、放課後児童クラブへの
入会希望者が増加しています。

課題：平成29年度は約**50人**が入会できない可能性も…

平成29年度の対策

ふれあいの里幼稚園跡地に
臨時の児童クラブを増設予定!!
これにより平成29年度全ての希望児童が
児童クラブに入会できるようになります。
新たな児童クラブ建設も協議中です。

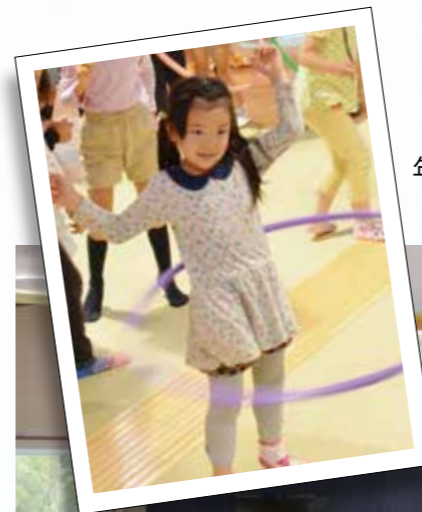
子育てしやすい境町を目指します!!



放課後児童クラブ

預かれる**施設・定員**を
増やしています!

境町の「放課後児童クラブ」の現在の活動状況と、
年々増加している学童保育などの課題についてお知らせします。



放課後児童クラブ

子育てしやすいまちづくり
に向けて改善中です

平成28年度、町では、境小敷地内に新たに「にこにこ児童クラブ」を建設するなど、「放課後児童クラブ」のクラブ数を5クラブから7クラブへ増設し、受入れ定員も200人から、255人へと増員しました。

子育てしやすいまちづくりを目指している町としては、平成29年度、更に入会希望者が増加傾向にあることから、ふれあいの里幼稚園跡地に臨時の児童クラブを増設する予定となっています。

これにより、平成29年度、全ての入会希望児童が放課後児童クラブへ入会できるようになります。

今後、町としては、境小の成功事例を参考に、学校の空き教室の利用や、学校敷地内に新たな児童クラブ建設が可能ななどの協議を行うとともに、安心して子育てできるまちづくりを推進してまいります。

国や県、企業から境町が獲得した事業

境町の移住・定住事業を国が採択！

¥2,500万円 100% 国の補助金


町が雇用促進住宅を購入する費用の一部として活用する他に、町内の空家等の状況調査及び対策に向けた計画策定費用として活用し、移住・定住促進に向けての土台を固めています。



企業版ふるさと納税 国の事業採択！企業が境町に出資！

¥7,700万円 100% 企業負担

「文化村」を文化交流・人々のふれあいの場として活用するため、環境にやさしい資材を用いてリノベーションを行い、町の文化・スポーツ、環境分野の中心地区として活用していきます。



有名マンガと境町のコラボ事業に国が支援！

¥1,300万円 100% 国の補助金


県内外13市町村の連携事業「サイクリングによるまちづくりプロジェクト」を観光協会に委託し、週刊少年チャンピオンで連載中の「弱虫ペダル」と連携し、オリジナル商品の期間限定販売など、道の駅をサイクリングの拠点として強くPRしています。



DMO 観光地域づくり連携事業

¥4,200万円 100% 国の補助金


利根川・江戸川の魅力を活用した観光拠点整備を進めています。野田市、五霞市とのネットワークや資源を活用し河岸のお土産開発研修や、エアポートの試乗会など、川を活用した観光・産業振興を合わせた取り組みを行っています。



下水道拡張事業 (大歩、中大歩、内門新田、上小橋)

¥7,500万円 (総事業費1億,500万円) 50% 国の補助金

補助率50%の国からの交付金を活用し、大歩地区・猿島小学校北側の町道1-10号線において、新たに下水道を整備する工事を実施します。工事完成予定は、平成29年6月末を予定しています。



環境省再生エネルギー 水素ステーション導入補助金

¥1億2,000万円 (総事業費1億,700万円) 約70% 国の補助金



役場敷地内に、水を電気分解し水素を作る装置「スマート水素ステーション(SHS)」を設置します。2016年度の環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金に応募し、県内市町村で唯一選ばれました。



「道の駅さかい」リノベーション事業 (平成29年度実施)

¥1億4,850万円 (総事業費1億,980万円) 75% 国の補助金

平成28年9月に「株式会社まちづくり公社」を設立し、今後道の駅さかいを観光の拠点、交流人口拡大の場とするため、平成27年度県内第1位の寄付額となったふるさと納税のお礼の品として取り扱う、梅山豚、さしま茶などの地元産品を食べることのできる体験型の施設、「ふるさと納税リアル店舗」を既存施設と隣接して整備し、地域活性化を推進していきます。

新教育プログラム導入事業

¥900万円 (総事業費1,000万円) 90% 企業負担


子どもたちが進んで活動できる仕組みを構築するため、教職員がリーダーインミー「7つの習慣」の研修を行うプログラムを導入し、子どもたちのモチベーションを高めていく手段として活用しています。



さかいっ子未来塾 (土曜・放課後) 事業

¥380万円 (総事業費570万円) 約66% 国県の補助金

小中学生を対象に、校内における放課後塾の開催や、町施設を利用した土曜塾を開催。児童生徒の疑問に、退職した教員、大学生、一般住民などの学習支援員が回答・サポートしています。

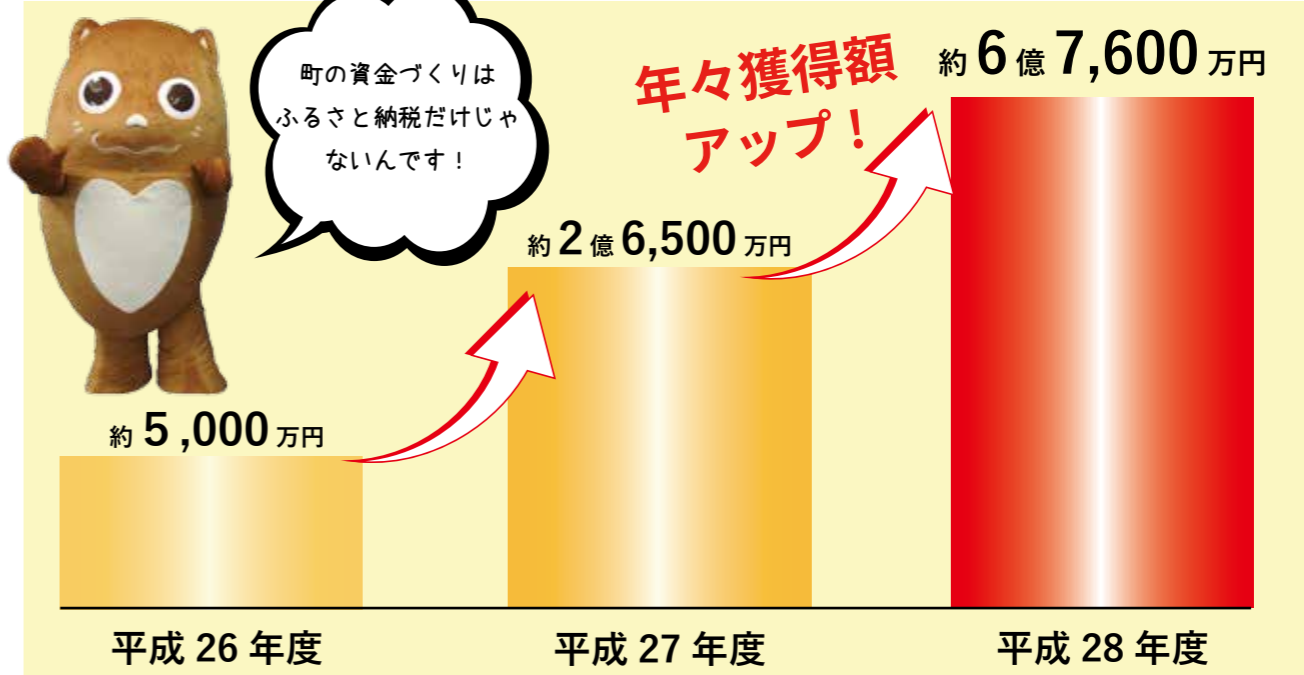


ふるさと納税だけではなく、積極的に財源の確保を行っています
新たな財源を獲得しています



平成26年度～平成28年度
国や県、企業からの
獲得金総額

約9億9,100万円 獲得



お金はなくても、アイデアとトップセールスで財源獲得！

今まで境町では、積極的な補助金の獲得を推進していませんでした。しかし、現在では国や県へ職員を派遣することにより、補助金の情報をいち早く集め、国の勉強会や研修会に参加することによって、新たな財源、先進モデルとしての国の事業の採択を受けています。

また、積極的な企業訪問を実施することで、企業からの出資などのご協力もいただいております。自治体の新たな取り組みとして、PFI、PPPなども積極的に推進してまいります。

こういったことにより、ふるさと納税だけではなく、事業を減らさずに、境町の財政再建に効果上げています。平成28年度も借金が減り、貯金が増え、全ての財政指標は改善する見込みとなっています。

平成28年度は、国からの交付金を活用し、人口減少対策として「移住・定住推進事業」や、利根川・江戸川の魅力を活用した観光拠点整備として「DMO観光地域づくり連携事業」、また、サイクリングによる地域活性化として「弱虫ペダルコラボ事業」等を実施しました。

他にも、境町で3事業が認定された企業版ふるさと納税を活用し、今年度は主に文化村施設のリノベーションや道の駅さかいを地域活性化の拠点として活用するために施設を増築する事業（平成29年度実施）にも補助金交付が決定しました。

今後も積極的な財源確保に努め、より良いサービスの提供やまちづくりができる様、様々な施策を行ってまいりますので、町民の皆さんのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

新たな財源の獲得

1/25

さしま茶手揉保存会 手もみ茶の全国大会で優秀賞に輝く

昨年11月10日、静岡県静岡市内において、全国14道府県から28チームが参加し、伝統的な手もみ茶の製茶技術を競う全国大会が開催され、茨城県さしま茶手揉保存会が優秀賞（第2位）に輝きました。

さしま茶手揉保存会は、平成23年と平成27年に最優秀賞（第1位）を受賞しており、今回は、昨年に引き続きの上位入賞となりました。

1月25日には、さしま茶手揉保存会のメンバー3人が役場を訪れ、橋本町長を表敬訪問しました。飯田園の飯田耕平さん（蛇池）は、「日本だけでなく世界にも茶の魅力を発信したい」と抱負を語りました。



▲写真右から木村さん（坂東市）、飯田さん（蛇池）、根本さん（坂東市）

1/28

麗澤大学で橋本町長が特別講演会 「いま政治に求められるのはスピード感」

町と包括的連携協定を締結している麗澤大学（千葉県柏市）において、「麗澤オープンカレッジ 特別講演会」が開催され、橋本町長が講演を行いました。

これは麗澤大学が社会人教育の一環として、各界の著名人や専門家を招いて年4回開催しているもので、橋本町長は「いま政治に求められるのはスピード感」をテーマに、これまで境町で取り組んできた様々な施策について講演を行いました。

会場に集まった約300名の聴講者の皆さんは、橋本町長の話に熱心に耳を傾け、講演後の質疑応答では多くの方から質問が寄せられました。



▲講演を行った橋本町長



▲講演を聞く参加者の皆さん

1/18

ジュニアオリンピック出場！ Y'pep エアロビクスクラブが表敬訪問

1月29日、静岡県袋井市で「第12回 JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビクス選手権大会 in 袋井2017」が開催され、ジュニアトリオ部門に、Y'pepの野村愛莉さん（長田小5年）、沼尻彩里さん（境小4年）、田沼香紅さん（猿島小3年）の3名が出場しました。

大会本番では、惜しくも入賞は逃しましたが、出場した3名は、全国大会の大舞台に臆することなく、軽やかなステップやダイナミックなジャンプなど、華麗な演技を披露しました。

今後のY'pepの皆さんの更なるご活躍を期待しています。



▲大会前の1月18日に表敬訪問に訪れたY'pep 沼尻先生（写真右）と出場メンバー（写真右から）野村さん、沼尻さん、田沼さん

1/20

災害に備えて地域との連携強化 森戸小で避難訓練実施

森戸小学校において、219名の森戸小の児童と、近隣行政区の区長及びPTA役員等が参加して、地域と連携した避難訓練が実施されました。

参加した皆さんは、坂東消防署の方から消火器の取り扱いや注意事項の説明を受け、児童は教職員や地域の方とペアになり、実際に消火器を用いて消火訓練を行った後、消防車の装備を見学し、説明を受けました。また、煙の怖さや特性を知ることが目的として、煙中体験を実施し、煙の中を避難するときは、低い姿勢をとり、ハンカチ等で口を覆うことの重要性を学びました。

また、役場職員による、災害時を想定したドローンの操縦実演も行われ、児童からは「ドローンが災害にも役立つことが分かりました」との感想が述べられました。



▲火災を想定した消火訓練の様子

2/1

祝!!100歳 墓とよさん

若林本田の自宅にて、墓とよさんが100歳の誕生日を迎え、ご家族の皆さんと誕生日を祝いました。

大正6年生まれのお墓さんは、自力でソファに腰かけ、マグカップでお茶を飲み、服薬管理も自身で行うなど、日常生活のほとんどを自分で行うことができる元気なおばあちゃんです。

誕生日当日は、墓さんの長寿を祝い、橋本町長が自宅を訪問し、町から感謝状と記念品を贈呈しました。

墓さんの今後益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



▲100歳を迎えた墓さん（写真中央）

1/22

圏央道坂東 IC 開通記念イベント開催

2月26日に開通する圏央道坂東 IC（インターチェンジ）において、坂東市、常総市、境町の3市町共催の開通記念イベントが開催されました。式典には、吉原坂東市長、神達常総市長、橋本境町長をはじめ多くの来賓の方々が出席し、イベントの開催を祝いました。

また、当日はたくさんのゆるキャラもお祝いに駆けつけ、来場者たちとの記念撮影を楽しみました。

圏央道沿線沿いの住民の方、約1万2,000人が参加したこのイベントでは、坂東 IC を出発し、境古河 IC 方面と常総 IC 方面への各1キロを往復するウォーキングが行われた他、3市町対抗で小学生の部、中学生の部、一般の部による綱引き大会が行われ、境町小学生選抜チームと山神町チームが見事優勝に輝きました。

その他にも、高速道路上に形作られた約600人の参加者による人文字「つなぐヒトマチけんおうどう」の記念空撮や物産展、Y'pepの皆さんがエアロビクスを披露したステージイベントなど、多くの催しが行われ、イベント会場は大いに盛り上がりました。



▲力いっぱい綱を引く山神町チーム



▲式典で祝辞を述べる橋本町長



▲元気いっぱいのダンスで会場を盛り上げたY'pepの皆さん



▲綱引き大会小学生の部で優勝したメンバーでの集合写真



▲完成したばかりの圏央道ウォーキングを楽しむ多くの来場者

1/12

境町体育協会「親子スキー教室」を開催

境町体育協会スキー部（河口祐一部長）では、長野県の軽井沢プリンスホテルスキー場において、40名の参加のもと、「親子スキー教室」を開催しました。この企画は、社会教育の一環として毎年実施されています。

当日は快晴にも恵まれ、スキー初挑戦の子どもたちも、スキー部の皆さんの熱心な指導を受けて、午後には自分一人で滑れるほどに上達し、大自然の素晴らしさを満喫しながら、雪山での楽しい一日を過ごすことが出来ました。



▲親子スキー参加者の集合写真

スポーツ

1/21・22 第36回境町近隣少年サッカー大会
 会場 境町サッカー場・境町総合運動場
 【高学年の部】
 参加チーム 9チーム
 優勝 JSC しもつま (下妻市)
 準優勝 フェニックスフットボールクラブ A (境町)
 第3位 フェニックスフットボールクラブ B (境町)
 【低学年の部】
 参加チーム数 8チーム
 優勝 三和 S クリアンサス (古河市)
 準優勝 前橋ジュニア (群馬県 前橋市)
 第3位 フェニックスフットボールクラブ A (境町)



寄付

12/12 茨城境ライオンズクラブが児童生徒に年賀ハガキを贈呈
 茨城境ライオンズクラブ(篠崎利雄会長)の皆さんが役場を訪れ、町内小中学校の児童生徒へ年賀ハガキ 2,000枚をプレゼントしました。



境ライオンズクラブの皆さんと子どもたち

1/25 NON歌謡会がチャリティー金を町へ寄付
 NON 歌謡会(荻野憲子会長)が、チャリティーとして集まった収益金 72,840円を福祉のために役立てていただきたいと寄付されました。



寄付に訪れたNON 歌謡会の皆さん

1/27 グラウンドゴルフふれあい友の会が町へ寄付
 グラウンドゴルフふれあい友の会(片倉弘会長)が、50,000円をスポーツ振興のため役立てて頂きたいと寄付されました。



寄付に訪れたグラウンドゴルフふれあい友の会の皆さん

2/1 建設業協会境支部が日本赤十字社へ大口寄付
 建設業協会境支部の皆さんが、日本赤十字社へそれぞれ10万円を寄付されました。



寄付に訪れた建設業協会境支部の皆さん(写真右から加藤建設工業、福島工務店、山下工業、中和建設、新井建設工業)

2/1 青少年健全育成境町民の会境支部が境小へ図書寄贈
 境小学校において、図書の贈呈式が行われました。これは昨年10月15日に行われた境小まつりに、青少年健全育成境町民の会境支部(鈴木壽支部長)が駄菓子や昔ながらのおもちゃなどから買い物の形態を学んでもらいたいと「なつかしや」を出店し、728名の入店者からの収益金(35,979円)で購入したもので、25冊の図書が寄贈されました。



青少年健全育成境町民の会境支部の皆さんと児童たち

俳句

十二月十七日 境町文化協会俳句部

兼題 「年の暮・雪掻・注連飾る」他当季雑詠

欲張らぬ幸を願いて注連飾る 仁
 ※ことしも注連飾りを飾り終えたが、いつも人並の幸せだけを願っていると言っているのである。
 禅の教えに、少欲知足(欲は少なく足るを知る)という言葉があるが、今日の境遇を至上と悟る謙虚な人柄の作者らしい作品となっている。
 暮れぬ内凍てぬ内にと雪を掻く きみ代
 ※駐車場の広い商店などの場合、雪掻きほど難儀なものはない。昼は来客で思うに任せないからである。そんなうちに、日が暮れてしまう。迫りくる夕暮を前にして焦る気持がよく表現されている。
 年の瀬や尽きぬ仏の慈悲の鐘 光夫
 ※年の瀬ともなると、普段は何気なく聞き流していた管の鐘の音が無性に身近なありがたみに聞こえてくる。とりわけ、高齢となつてからは鐘の響きから尽きぬ御仏の恩愛を痛感する。生かされている自己を思い知る年の瀬である。

巡り来る老いの速さや年の暮 幸子
 父監督息子習うや注連飾り 幸子
 安全な通学願ひ雪を掻く 幸子
 雪掻きやだるま造りにまだ足りず 幸子
 有難や丈夫で米寿年暮れる 幸子
 年の暮多忙なれども希望あり 幸子
 年の暮も年輪苦にならず 幸子
 雪を掻く張り切る夫の鼓動かな 幸子
 看取る嫁髪剃り上手し年の暮れ 幸子
 雪掻の猫の手要らぬ広さかな 幸子
 雪掻きを終えて二人の朝餉かな 幸子

短歌

境短歌会 山鳩

久しぶり恋しき人の夢を見た学生時代の甘き思い出 五月女 三枝子
 混雑の駅のホームに鳩一羽人の足元すり抜け歩く 鈴木 喜与子
 白き花いつしか終りそばを打つ音なつかしき母の温もり 桜井 レイ
 ひらひらと掃けども掃けども舞い落ちる葉はそれぞれに 齊藤 敬子
 いろいろな思い出脳裏かけめぐり芒の穂先 静かに揺れて 川村 米子
 日毎見る金柑の実は色増せり 独居の胸に 何か灯して 風間 リヨ子
 冬の朝街は静かにめざめおり 門のなんてん春待ち赤し 川上 ヒサ
 秋一日 都に集い弟妹の姉を気遣う優しき言葉(兄弟会) 稲田 美重子
 年の瀬に娘に苦情され吾かなし 今日一日が長く思えり 飯田 俊子
 雪かぶりて椿立つ灰色の空 冬深まりて 松岡 美智子
 寒の畑 朝陽かがやく美の光景ダイヤモンドダストに感動す(霜柱一号) 本島 いと子

月の始めに立春を迎え寒が明けますが、寒さはまだまだきびしく、陰暦の二月の別名「如月」と言うのも、「衣更着」と言うて更に衣を着る月と言う説もあるそうです。立春後の冬枯れの寒さの中に、春の息吹きをしばしば感じる事も有りますが、寒い冬はとかく家にもりがちになりますので、やがて来る春を待ち乍ら元気にすこして行き度いと思っております。

意外な事実▶約80%の都道府県で地元紙が県内シェアNo.1と言う事実!

犯人は茨城新聞社です!

県内の細かいニュースはテレビ、ネットには登場しません。
なのに、残念ですが「地元紙」茨城新聞のシェアは第3位です。
 犯人はアピール不足の茨城新聞社です! でも、地元の話題や県内スポーツ等、皆さんの身近なニュースは質、量ともNo.1!
是非この機会に無料で体感してください。

無料進呈
 茨城新聞を7日間無料で毎朝お届け致します。
※お申し込みは1週間前までにお願いいたします。

お申込みは **TEL 0120-029-218**
(お電話受付時間) 9:00~17:00 土日祝日を除きます
※お申し込みは1週間前までにお願いいたします。

茨城新聞社

あなたの街の **仲人おぼさん** 紹介
 体験入会男女共に **3ヶ月→5,000円** ※公的書類提出可能な方
 ★お見合い後交際に入った場合は希望により正式入会に進みます。

結婚相談室チャペル の代表 遠藤 美と申します。
 真剣に結婚を考えている方のみご相談ください。全力でお手伝いいたします。
 この道19年、仲人の達人!!
 今すぐ... 完全予約制 **0280-30-7070**
〒306-0011 茨城県古河市東3-5-13 イトーヨーカドー南側

平成 29 年 2 月 26 日

圏央道茨城県区間全線開通

午後 3 時から一般車両が通行できます！



主要 IC までの通行料金

	車種	つくば中央 IC	新空港 IC (新空港道)	三郷 IC (常磐道)	浦和本線料金所 (東北道)	厚木 IC (東名)
境古河 IC	軽自動車等	840 円	2,230 円	1,870 円	1,280 円	3,150 円
	普通車	1,050 円	2,750 円	2,290 円	1,550 円	3,900 円

町の人口と世帯数 ※平成 29 年 1 月 1 日現在の常住人口 (前月比)

■総人口 24,360 人 (-36) ■男性 12,204 人 (-8) ■女性 12,156 人 (-28) ■世帯数 8,238 世帯 (-6)

■発行所 / 境町役場 〒306-0495 茨城県猿島郡境町 391-1 Tel. 0280-81-1329 ■編集 / 秘書広聴課 ■発行日 / 平成 29 年 2 月 15 日
 ■境町ホームページ <http://www.town.sakai.ibaraki.jp/>